

# Mémoires 2020

## ヴィクトリアマイル

第15回ヴィクトリアマイル(GI)優勝馬アーモンドアイ



## 「特別な馬」が、鮮やかに復活



▲好スタートを切ったアーモンドアイ(帽色・緑・右)は、抜群の手応えで4コーナーを回る。



▲アーモンドアイは、国内外芝GIの最多勝記録に並んだ。

鮮烈な復活劇で史上最多タイの国内外芝GI 7勝目として、歴代の名馬に並んだ。

前年の天皇賞(秋)を制したのを最後に、アーモンドアイは不完全燃焼な状態が続いていた。香港カップは出国前日に熱発して回避。急遽、出走した有馬記念は、臨戦過程の苦しさを表したかのように、力んだ末に失速し、生涯初の大敗となる9着。仕切り直し、連覇をかけて向かったドバイターフは、渡航後に新型コロナウイルス感染拡大の影響でレースが中止となり、虚しく帰国。このヴィクトリアマイルは、約5か月ぶりの実戦だった。

そんな女王の隙を突くべく、多彩なライバルが顔を揃えていた。前年の1、2着馬であるノームコアとプリモシーン。京都金杯、京都牝馬ステークス、阪神牝馬ステークスと重賞3連勝中、絶好調のサウンドキアラ。前年のオークス馬ラヴズオンリーユーはエリザベス女王杯3着以来の休み明けで、これがシーズン初戦だった。

しかしそれでも、ファンはアーモンドアイを単勝1.4倍と断然の1番人気に支持した。そしてその強さは、やはり別次元のレベルだった。

クリストフルメール騎手が「パドックからスタートまでいい感じで、大人になりましたね」と振り返ったように、落ち着いてレースに臨んだアーモンドアイは、出遅れることもなくゲートを出ると好位の4、5番手を確保。トロワゼトワルが作る速めの流れを、楽な手応えで追走する。

4コーナーを回っても、各馬が懸命のスパートを開始する中、アーモンドアイだけは持ったままで先頭へ追っていく。直線半ばで抜け出し、ムチも使わずさらに加速すると、あとは突き放すだけだった。最後は4馬身差、タイムはコース記録に0秒1差。圧倒的な勝ちっぷりだった。

国内外の芝GI通算7勝目は、シンボリルドルフやディープインパクトらに並ぶ歴代最多タイ記録。さらにこの勝利により、牝馬としてはブエナビスタ、ジェンティルドンナ、ウオッカに続き史上4頭目のJRA獲得賞金10億円突破。「アーモンドアイは特別な馬です」というルメール騎手の言葉に、誰もが深く頷くしかない。そんな鮮やかな復活劇だった。

### 第15回ヴィクトリアマイル(GI)

5/17 東京競馬場 1600m(芝・左) 晴・良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/差	人気	通過順位
1	アーモンドアイ	牝5	55	C.ルメール	国枝 栄	1:30.6	①	④④
2	サウンドキアラ	牝5	55	松山 弘平	安達 昭夫	4	④	③③
3	ノームコア	牝5	55	横山 典弘	萩原 清	クビ	⑤	⑦⑥
4	トロワゼトワル	牝5	55	三浦 皇成	安田 隆行	1/2	⑫	①①
5	ダンファンタジー	牝4	55	川田 将雅	中内田充正	1/2	⑥	⑥⑥
6	シゲルピンクダイヤ	牝4	55	和田 竜二	渡辺 薫彦	3/4	⑪	⑧⑧
7	ラヴズオンリーユー	牝4	55	M.デムーロ	矢作 芳人	1	③	⑧⑧
8	プリモシーン	牝5	55	D.レーン	木村 哲也	1 1/4	②	⑧⑪
9	ビーチサンバ	牝4	55	福永 祐一	友道 康夫	クビ	⑨	⑬⑪
10	シャドウディーヴァ	牝4	55	池添 謙一	斎藤 誠	1 1/2	⑩	⑫⑬
11	アールシャ	牝5	55	北村 宏司	藤沢 和雄	1/2	⑮	⑮⑮
12	トーセンプレス	牝5	55	岡田 善臣	藤原 征弘	ハナ	⑬	⑮⑮
13	サトノガーネット	牝5	55	吉田 豊	矢作 芳人	クビ	⑯	⑭⑭
14	コントラチェック	牝4	55	武 豊	藤沢 和雄	アタマ	⑧	②②
15	スカーレットカラー	牝5	55	石橋 脩	高橋 亮	2 1/2	⑦	⑩⑩
16	メジェール	牝5	55	岡田 祥嗣	藤原 英昭	3	⑭	④④
-	ディメンション	牝6	55	松田 大作	藤原 英昭	出走取消	-	-
-	セラビア	牝4	55	田辺 裕信	藤岡 健一	出走取消	-	-

単勝 ⑫140円 複勝 ⑫110円 ⑬220円 ⑭300円 枠連(6-8)390円  
馬連 ⑫-⑬750円 馬単 ⑫-⑬950円 ワイド ⑫-⑬390円 ⑭-⑮530円 ⑯-⑰1,530円  
3連複 ⑫-⑬-⑭2,960円 3連単 ⑫-⑬-⑭7,340円

ハロンタイム 12.0-10.9-11.3-11.4-11.1-11.2-11.1-11.6  
通過タイム 600m<sup>⑫</sup>34.2-800m<sup>⑬</sup>45.6-1000m<sup>⑭</sup>56.7-1200m<sup>⑮</sup>1:07.9-1400m<sup>⑰</sup>1:19.0

#### 優勝馬 アーモンドアイ

2015.3.10生 父ロードカナロア 母フサイチパンドラ 母の父サンデーサイレンス  
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)シルクレーシング